



## 2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2020年10月29日

上場会社名 東洋埠頭株式会社 上場取引所 東  
 コード番号 9351 URL <http://www.toyofuto.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 原 匡史  
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部次長 (氏名) 佐古 一彦 TEL 03-5560-2702  
 四半期報告書提出予定日 2020年11月13日 配当支払開始予定日 2020年11月30日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無：無  
 四半期決算説明会開催の有無：無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2021年3月期第2四半期の連結業績（2020年4月1日～2020年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	17,434	△1.8	789	△13.1	877	△15.9	585	27.8
2020年3月期第2四半期	17,754	2.6	907	0.6	1,043	3.0	458	△30.3

(注) 包括利益 2021年3月期第2四半期 919百万円 (242.9%) 2020年3月期第2四半期 268百万円 (△73.2%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	76.04	—
2020年3月期第2四半期	59.52	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	37,914	20,942	54.9	2,704.11
2020年3月期	38,271	20,217	52.5	2,610.78

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 20,827百万円 2020年3月期 20,109百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	25.00	—	25.00	50.00
2021年3月期	—	25.00	—	—	—
2021年3月期（予想）	—	—	—	25.00	50.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

### 3. 2021年3月期の連結業績予想（2020年4月1日～2021年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	34,000	△2.1	1,400	△4.0	1,600	△7.4	1,000	△20.1	129.83

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2021年3月期2Q	7,740,000株	2020年3月期	7,740,000株
② 期末自己株式数	2021年3月期2Q	37,728株	2020年3月期	37,628株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2021年3月期2Q	7,702,298株	2020年3月期2Q	7,702,560株

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

業績予想につきましては、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる仮定等については、P. 3をご参照ください。

## ○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報 .....	2
(1) 経営成績に関する説明 .....	2
(2) 財政状態に関する説明 .....	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明 .....	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記 .....	4
(1) 四半期連結貸借対照表 .....	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間 .....	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書 .....	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項 .....	9
(継続企業の前提に関する注記) .....	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記) .....	9
(追加情報) .....	9
(四半期連結貸借対照表関係) .....	9
(セグメント情報等) .....	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

## (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間は、新型コロナウイルス感染症の影響により、特に後半、荷動きが低迷しました。

このような中、当社グループでは、グループ各社の連携を一層強化し、営業の拡大、経営基盤の強化、社会的責任の向上に取り組んでまいりました。

国内総合物流事業は、紙類、石油化学品などの取扱数量が減少し、倉庫貨物の入出庫数量は前期を下回りました。また、ばら積み貨物やコンテナ取扱数量も減少したことから、作業や運送などの取扱いが減少しました。

国際物流事業は、ロシアでの倉庫事業拡大に伴い、貨物取扱いが増加しました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の営業収入は174億3千4百万円（前年同期比3億2千万円、1.8%の減収）となりました。人件費、物件費など、販管費の増加により、営業利益は7億8千9百万円（前年同期比1億1千8百万円、13.1%の減益）と前期を下回りました。営業外収支で為替差損を計上したことなどにより、経常利益は8億7千7百万円（前年同期比1億6千6百万円、15.9%の減益）となりました。当期は大きな特別損失がなかったことから、親会社株主に帰属する四半期純利益は5億8千5百万円（前年同期比1億2千7百万円、27.8%の増益）となりました。

なお、新型コロナウイルス感染症拡大による業績への影響については、荷動きの低迷、販管費の増加などがあったものの、軽微でした。

セグメントの概況は次のとおりです。

## ○ 国内総合物流事業

国内総合物流事業の営業収入は157億8百万円（前年同期比2.9%の減収）、営業利益は7億2千7百万円（前年同期比14.9%の減益）となりました。

## 《倉庫業》

倉庫業の営業収入は53億8千9百万円（前年同期比2.4%の減収）となりました。入出庫数量は174万トン（前年同期191万トン）、平均保管残高は30万トン（前年同期30万トン）でした。普通倉庫貨物は、輸入青果物は堅調に推移したものの、紙類、石油化学品などが減少しました。サイロ倉庫貨物は、麦類が減少しました。

## 《港湾運送業》

港湾運送業の営業収入は41億1千1百万円（前年同期比0.6%の増収）となりました。輸入青果物の取扱いは増加したものの、ばら積み貨物は穀物類、石炭の取扱数量が減少し、238万トン（前年同期246万トン）でした。

コンテナ取扱数量は川崎港での取扱いは増加しましたが、志布志港での取扱いが減少し、130千TEU（前年同期132千TEU）でした。

## 《自動車運送業》

自動車運送業の営業収入は26億2千6百万円（前年同期比13.1%の減収）となりました。全般的な荷動きの低迷により、取扱いが大きく減少しました。

## 《その他の業務》

その他の業務の営業収入は35億8千万円（前年同期比1.0%の増収）となりました。物流関連施設の賃貸収入などが堅調に推移しました。

## ○ 国際物流事業

国際物流事業の営業収入は18億4千3百万円（前年同期比7.5%の増収）、営業利益5千7百万円（前年同期比18.8%の増益）となりました。ロシアでの倉庫事業及び、輸送が増加しました。

## (2) 財政状態に関する説明

## ① 全般の概況

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ3億5千6百万円減少し、379億1千4百万円となりました。流動資産は、受取手形及び営業未収入金、現金及び預金の減少等に伴い、前連結会計年度末に比べ4億8千2百万円減少しました。固定資産は、株価の上昇による投資有価証券の増加等に伴い、1億2千6百万円増加しました。

負債は、前連結会計年度末に比べ10億8千2百万円減少し、169億7千1百万円となりました。未払金、設備関係支払手形が減少し、借入金も長期短期合わせて2億7千万円減少しました。

純資産は、前連結会計年度末に比べ7億2千5百万円増加し、209億4千2百万円となりました。利益剰余金は3億9千2百万円、その他有価証券評価差額金は2億6千8百万円増加しました。

この結果、自己資本比率は54.9%で、前連結会計年度末比2.4ポイント上昇しました。

## ② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間の現金及び現金同等物の期末残高は、前連結会計年度末より、1億6千万円減少し、16億6千2百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、法人税等の支払額が増加したことなどにより、前年同期に比べ1億7千4百万円減少し、13億8千3百万円となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、10億7千3百万円の純支出となりました。貸付金の回収による収入は減少しましたが、固定資産の取得による支出が減少したことなどにより、前年同期に比べ9百万円純支出が減少しております。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、4億6千万円の純支出となりました。長期借入金の返済による支出は増加しましたが、長期借入による収入の増加などにより、前年同期に比べ1千2百万円純支出が減少しております。

## (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

新型コロナウイルス感染症拡大による影響は予断を許さない状況が続くと予測しておりますが、当社グループでは、営業活動による連結業績が概ね堅調に推移していることから、2020年5月19日の決算短信にて公表した連結業績予想につきましては変更していません。

今後、状況に変化が生じた場合には速やかに開示いたします。

## 2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

## (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,223	2,062
受取手形及び営業未収入金	4,109	3,853
原材料及び貯蔵品	250	252
前払費用	154	216
その他	551	420
貸倒引当金	△3	△3
流動資産合計	7,285	6,802
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	52,913	53,039
減価償却累計額	△40,249	△40,593
建物及び構築物 (純額)	12,664	12,445
機械及び装置	20,622	20,815
減価償却累計額	△18,011	△18,257
機械及び装置 (純額)	2,611	2,557
船舶及び車両運搬具	1,210	1,233
減価償却累計額	△1,102	△1,103
船舶及び車両運搬具 (純額)	107	129
工具、器具及び備品	943	947
減価償却累計額	△842	△834
工具、器具及び備品 (純額)	100	113
土地	8,461	8,461
リース資産	113	105
減価償却累計額	△46	△48
リース資産 (純額)	67	57
建設仮勘定	0	121
有形固定資産合計	24,013	23,887
無形固定資産		
リース資産	1	0
その他	118	112
無形固定資産合計	119	113
投資その他の資産		
投資有価証券	4,734	5,120
長期貸付金	33	21
繰延税金資産	635	547
その他	1,477	1,451
貸倒引当金	△29	△29
投資その他の資産合計	6,852	7,110
固定資産合計	30,985	31,111
資産合計	38,271	37,914

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2020年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2020年9月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
営業未払金	3,080	2,830
短期借入金	5,374	4,799
リース債務	21	19
未払金	882	588
未払法人税等	378	334
設備関係支払手形	657	395
その他	1,000	1,028
流動負債合計	11,396	9,996
固定負債		
長期借入金	4,436	4,741
リース債務	48	39
退職給付に係る負債	1,966	1,993
役員退職慰労引当金	8	8
資産除去債務	55	49
その他	142	141
固定負債合計	6,657	6,974
負債合計	18,054	16,971
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,260	8,260
資本剰余金	5,181	5,181
利益剰余金	6,394	6,787
自己株式	△62	△62
株主資本合計	19,775	20,168
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	556	825
為替換算調整勘定	147	162
退職給付に係る調整累計額	△370	△327
その他の包括利益累計額合計	333	659
非支配株主持分	107	115
純資産合計	20,217	20,942
負債純資産合計	38,271	37,914

## (2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
営業収入	17,754	17,434
営業原価	15,926	15,589
営業総利益	1,827	1,844
販売費及び一般管理費	919	1,055
営業利益	907	789
営業外収益		
受取利息	1	1
受取配当金	85	89
受取地代家賃	43	40
持分法による投資利益	5	—
為替差益	15	—
その他	46	61
営業外収益合計	198	191
営業外費用		
支払利息	58	49
持分法による投資損失	—	1
為替差損	—	41
その他	4	10
営業外費用合計	62	103
経常利益	1,043	877
特別利益		
固定資産売却益	0	1
特別利益合計	0	1
特別損失		
固定資産除却損	35	20
火災による損失	354	—
特別損失合計	390	20
税金等調整前四半期純利益	654	858
法人税、住民税及び事業税	213	300
法人税等調整額	△25	△35
法人税等合計	188	264
四半期純利益	466	593
非支配株主に帰属する四半期純利益	7	8
親会社株主に帰属する四半期純利益	458	585



(四半期連結包括利益計算書)

(第2四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
四半期純利益	466	593
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△194	269
為替換算調整勘定	△12	15
退職給付に係る調整額	13	42
持分法適用会社に対する持分相当額	△3	△1
その他の包括利益合計	△197	326
四半期包括利益	268	919
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	260	911
非支配株主に係る四半期包括利益	7	8

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	654	858
減価償却費	801	816
引当金の増減額 (△は減少)	5	0
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	△2	88
固定資産処分損益 (△は益)	34	18
借地権利金償却額	9	9
火災による損失	354	—
受取利息及び受取配当金	△87	△90
支払利息	58	49
持分法による投資損益 (△は益)	△5	1
売上債権の増減額 (△は増加)	108	243
仕入債務の増減額 (△は減少)	△20	△229
その他	△283	△20
小計	1,627	1,747
利息及び配当金の受取額	101	90
利息の支払額	△57	△48
法人税等の支払額	△112	△339
その他	—	△65
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,557	1,383
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△50	△50
定期預金の払戻による収入	50	50
固定資産の取得による支出	△1,039	△994
固定資産の売却による収入	1	2
固定資産の除却による支出	△51	△61
資産除去債務の履行による支出	—	△6
投資有価証券の取得による支出	△8	△8
貸付けによる支出	△302	△274
貸付金の回収による収入	317	268
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,082	△1,073
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△20	△11
長期借入れによる収入	650	900
長期借入金の返済による支出	△901	△1,140
自己株式の取得による支出	△0	△0
配当金の支払額	△193	△196
非支配株主への配当金の支払額	—	△0
リース債務の返済による支出	△8	△10
財務活動によるキャッシュ・フロー	△472	△460
現金及び現金同等物に係る換算差額	6	△10
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	8	△160
現金及び現金同等物の期首残高	1,348	1,823
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,356	1,662

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(追加情報)

(連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱いの適用)

当社及び一部の国内連結子会社は、「所得税法等の一部を改正する法律」(令和2年法律第8号)において創設されたグループ通算制度への移行及びグループ通算制度への移行にあわせて単体納税制度の見直しが行われた項目については、「連結納税制度からグループ通算制度への移行に係る税効果会計の適用に関する取扱い」(実務対応報告第39号 2020年3月31日)第3項の取扱いにより、「税効果会計に係る会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第28号 2018年2月16日)第44項の定めを適用せず、繰延税金資産及び繰延税金負債の額について、改正前の税法の規定に基づいております。

(四半期連結貸借対照表関係)

偶発債務

前連結会計年度(2020年3月31日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

なお、火災で焼失した当社の設備等に係る損失、それに伴う受取保険金は連結財務諸表に計上しています。

当第2四半期連結会計期間(2020年9月30日)

(当社川崎支店の火災について)

当社川崎支店において、2019年4月16日にベルトコンベアから火災事故が発生し、近隣の施設に延焼しました。この火災事故につきまして将来金銭的負担が生じる可能性があります。現時点では四半期連結財務諸表に与える影響額を合理的に見積もることは困難な状況です。

(セグメント情報等)

## 【セグメント情報】

## I 前第2四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	16,126	1,627	17,754	—	17,754
セグメント間の内部 売上高又は振替高	43	86	130	△130	—
計	16,170	1,714	17,884	△130	17,754
セグメント利益	854	48	902	5	907

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。

## II 当第2四半期連結累計期間(自2020年4月1日至2020年9月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント			調整額(注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	国内総合 物流事業	国際物流事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	15,677	1,756	17,434	—	17,434
セグメント間の内部 売上高又は振替高	30	86	117	△117	—
計	15,708	1,843	17,551	△117	17,434
セグメント利益	727	57	784	5	789

(注)1. 調整額は、セグメント間取引消去であります。

2. セグメント利益は、連結財務諸表の営業利益と調整を行っております。